

高梁川流域キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

じんでんまつり

神田祭り

新見市

高総早倉矢井浅里笠
梁社島敷掛原口庄岡
市市町市町市町市



かんけい ばしょ
関係のある場所

ゆい はちまんじん じゃ
・由井八幡神社



ぎょうじ

この行事について

「神田祭り」は、新見市大佐田治部勘定地区で祀られている由井八幡神社の秋のお祭りです。

このお祭りは、500年以上前から始まったとされ、別名「大食い祭り」、「強飯祭り」、「椀祭り」とも呼ばれていて、一日中ご飯を食べ続けるお祭りです。

お祭りの当日は、地区内の家が当屋（※お祭りを担当する家）に集まり、男性は八幡宮にお参りし「当受け」「当渡し」の神事を行い、その間に女性は食事の準備をします。当屋に帰った男性は、神主とともにお酒の席に着き、酒盛りをして本膳を食べ始めます。

本膳では女性たちがご飯を勧め、お椀を出すと大盛りご飯のおかわりを食べるようになります。男性は朝から何度もご飯を食べている上に、酒を飲んでいるので、お椀をふところに入れて隠す人も出てきます。すると、給仕に出ている女性は、お椀を取ろうとして、男性はお椀を取られまいとしてお椀の奪い合いが始まります。

最後には、男性は部屋の中央に引っ張り出され、女性は大勢でそのお椀を取り上げ、大盛りご飯を盛り付けます。このことを椀取りといい、昔は椀取りになると身分や地位は関係なくなり、大騒ぎをしていました。こうしてお祭りは続き夜遅くになると夜食が出てきます。すべての食事の回数を数えるとその回数は実に7回になり、お祭りは終了となります。